

こころみ

2006. 3. 1 担当：研究主任会

教科学習推進委員会だより最終号では、『パワーアップ～学力の定着と向上の施策～』を基にした各校の学力向上施策の実践と、研究主任会冬季研修会での意見交換から、各校の学習意欲を高める実践を紹介します。



教育委員会から出されている「第5次学力向上対策構造図（3か年計画）」のテーマにある「学習意欲を高め、確かな学力の向上を図る」ために、各校の実践を参考にし、「確かな学力」を育て、「確かな指導力」を身に付けていきましょう。

学習意欲を高める実践

<小学校>

- 1 意欲を喚起する導入の工夫**
 - レディネスの把握による課題設定
 - 授業のゴールを明確にしたためあての提示
 - 具体物・視聴覚機器を含む教材・教具の工夫と活用
- 2 学習過程の工夫**
 - 体験的な学習や問題解決的な学習
 - 一人一人の思いや考えを表現する場の設定
 - 自力解決と学び合いの調和
 - 地域素材や人材の積極的な活用
- 3 個に応じた支援の工夫**
 - 児童の興味・関心、習熟の程度に応じた学習活動
 - T Tの活用と少人数学習の実施
 - 全校体制で取り組む回復指導の工夫
- 4 成就感が得られる終末の工夫**
 - 自己評価と相互評価の工夫
 - 一人一人のよさや頑張りの賞揚
- 5 家庭学習の習慣化と内容の充実**
 - 家庭学習の手引きの配布
 - PTA授業参観に合わせた学習ノート展の実施
 - 「全校一斉テスト」の実施

<中学校>

- 1 わかる授業の構築**
 - 評価を生かした授業改善
 - 学習のねらいの明確化
 - 教育機器の活用
- 2 授業改善の一つとして、互いに授業を見合う**
 - 空き時間を利用して・指導案なしで
 - ・授業を見る視点を持って（チェックリストを活用して）
 - ・授業の感想を伝える（口頭、メモ）
- 3 基礎・基本を目指したドリル学習**
 - 各教科で
 - 5分程度で
 - 継続して
- 4 学習意欲の向上を確かめる**
 - 学習状況調査（学習意欲に関する部分のみ）を再度実施し、成果を確認

学力向上施策の取り組み

<小学校>

1 基礎的・基本的な内容の定着

- 「わかる授業」の構築
 - ・基礎的・基本的な内容の明確化
 - ・学習のねらいとまとめの明確化
 - ・習熟と活用場の確保
- 個に応じた指導のための学習形態の工夫
 - ・少人数学習，TT等の推進
 - ・レディネステスト等による実態把握
- 評価を生かした授業改善
 - ・児童の自己評価・相互評価を生かす工夫
 - ・評価を生かした支援や指導の工夫
- ドリル学習，漢字・計算の全校一斉定着確認テスト，発展・補充学習の推進

2 主体的に学ぶ力の育成

- 意欲を高める課題提示の工夫
- 自己表現の場の設定
- コンピュータや学校図書館の積極的な活用
- 体験的な学習，問題解決的な学習の推進
- 自力解決の場と練り合い，学び合いの場の設定

3 諸検査の分析と補充的学習

- 学習状況調査，NRT，CRT等の結果分析と活用
- 個に応じた回復指導の工夫

4 その他

- 基本的な学習習慣の育成
- 検証授業の実施

<中学校>

1 「わかる授業」の構築

- 基礎・基本の確認と確実な定着
 - ・指導内容の重点化と学習課題提示の工夫
 - ・意欲・関心を高める導入の工夫
 - ・思考場面の設定
 - ・個に応じた指導
 - ・教育機器の効果的活用
 - ・終末の工夫（定着の確認とケア）
- 評価を生かした指導
 - ・評価規準の明確化
 - ・指導と評価の一体化
 - ・諸検査のデータを生かした指導
 - ・評価方法の多様化
- ステップ学習による基礎学力の定着

2 指導方法，指導形態の工夫

- 少人数学習の推進
 - ・TTの効果的な活用
 - ・コース別学習の設定
- 単元構想に基づいた選択教科の実施
 - ・習熟度学習の試み
 - ・苦手教科の克服

3 その他

- 基本的な学習習慣の確立
- 表現力の育成
- 総合的な学習の時間と各教科等の指導計画の有機的な連携
- 家庭学習の習慣化